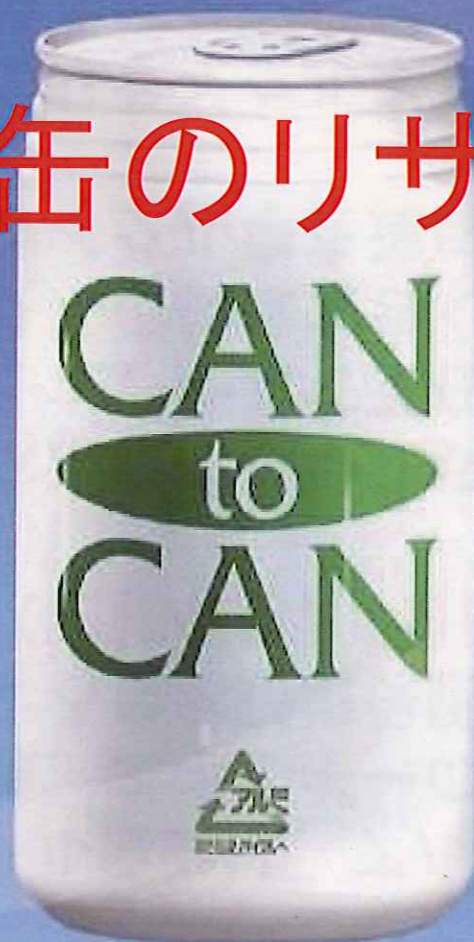


「アルミ缶のリサイクル」



アルミ缶リサイクル協会

Aluminium Can Recycling Association

東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル6階

Tel.03-6228-7764 Fax.03-6228-7769 〒104-0061

<http://www.alumi-can.or.jp>



協会の目的

アルミ缶リサイクル協会は、アルミ缶のリサイクルをいっそう進め、資源、エネルギーの有効利用を図り、空き缶公害防止による自然環境保護に寄与することを目的として**1973年（昭和48年）2月に設立**されました。

以来、さまざまな広報活動や回収ルートづくりを積極的に行ってきました。そして現在では、皆様のご協力を得て、リサイクルの輪は大きく広がり、世界でもトップクラスのリサイクル率を達成しています。

これからも、高いリサイクル率を維持するために、さらなる活動の推進を図り、循環型社会づくりに貢献してまいります。

アルミ缶リサイクル協会 会員

アルミ缶製造	アルミ圧延	商 社	飲料製造	再生地金製造
☆昭和 アルミニウム缶	☆神戸製鋼所	住 友 商 事	アサヒビール	アサヒセイレン
☆大 和 製 罐	昭 和 電 工 (☆昭和 アルミニウム)	三井物産メタルズ	キ リ ン	エス・エス・アルミ
武内プレス工業	日 本 軽 金 属	三菱商事RtM ジャパン (☆三菱商事)	サッポログループ マネジメント	正起金属加工
東 洋 製 罐	☆三 菱 アルミニウム	神 鋼 商 事	サントリー ホールディングス	大紀アルミニウム 工業所
日本ナショナル 製罐	U A C J	丸 紅 メタル (☆丸紅)	アサヒ飲料	山 ー 金 属
ユニバーサル製缶 (☆三菱金属鉱業)		昭 光 通 商	宝 酒 造	
北 海 製 罐		U A C J トレーディング		
		岡 谷 鋼 機		

☆伊藤忠商事

☆印:1973年 協会設立時の発起人会社

アルミ缶主要製品一覧

通常缶



500cc
204径
206径



350cc
204径
206径



280cc
206径



250cc
204径
206径



250cc
200径



200cc
200径



190cc
200径



160cc
200径

ボトル缶



410B



360B

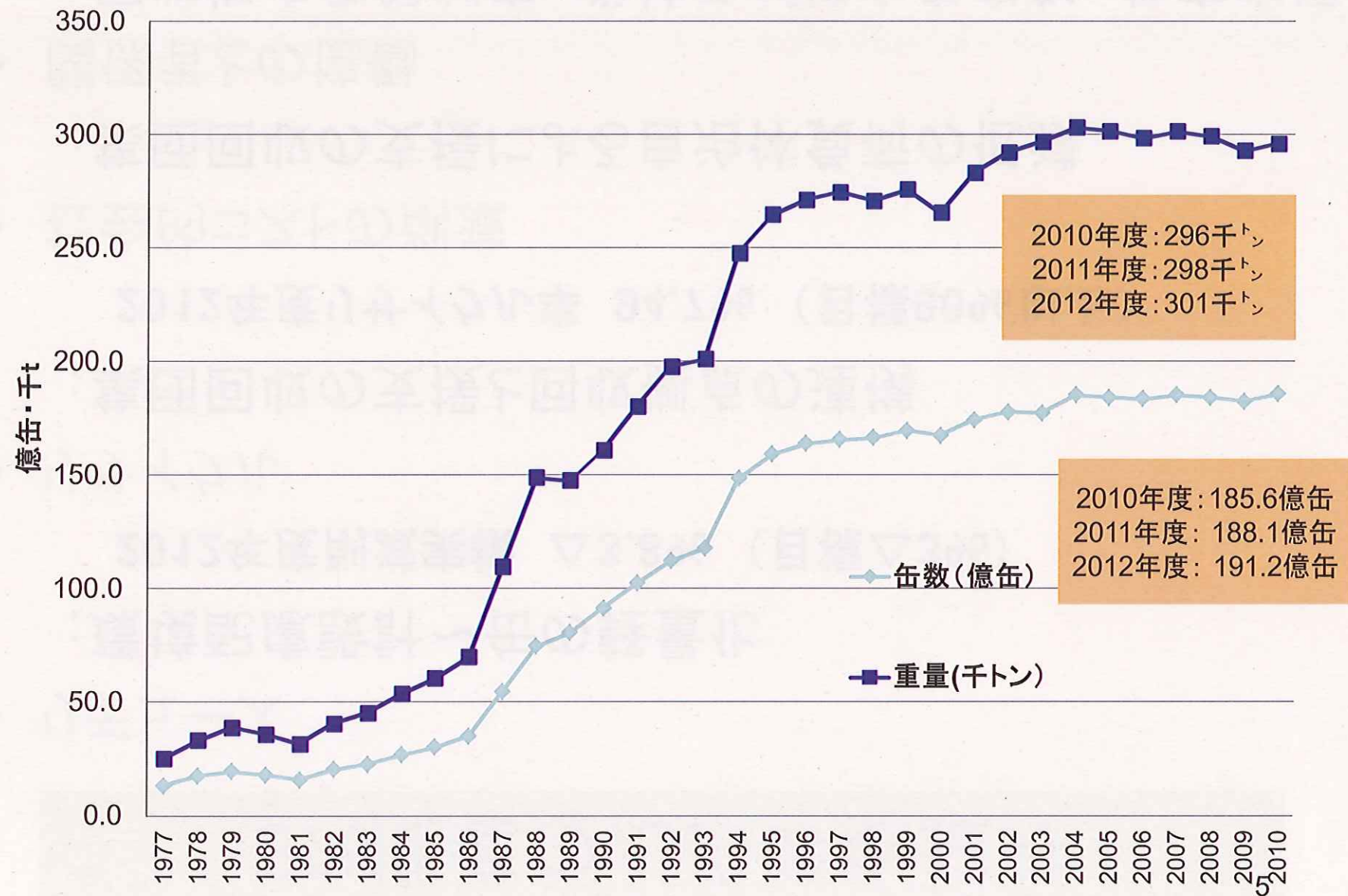


315B



310B

国内アルミ缶消費量



3R推進のための取組み

- リデュース

- ; 環境配慮設計～缶の軽量化

- 2012年度削減実績 $\Delta 3.8\%$ (目標 $\Delta 3\%$)

- リサイクル

- ; 集団回収の支援と回収拠点の連携

- 2012年度リサイクル率 94.7% (目標90%以上)

- 社会的コストの削減

- ; 集団回収の支援による自治体負荷の低減

- 関係者との協働

- ; 回収拠点登録制度、学校及び協力者表彰、教育支援

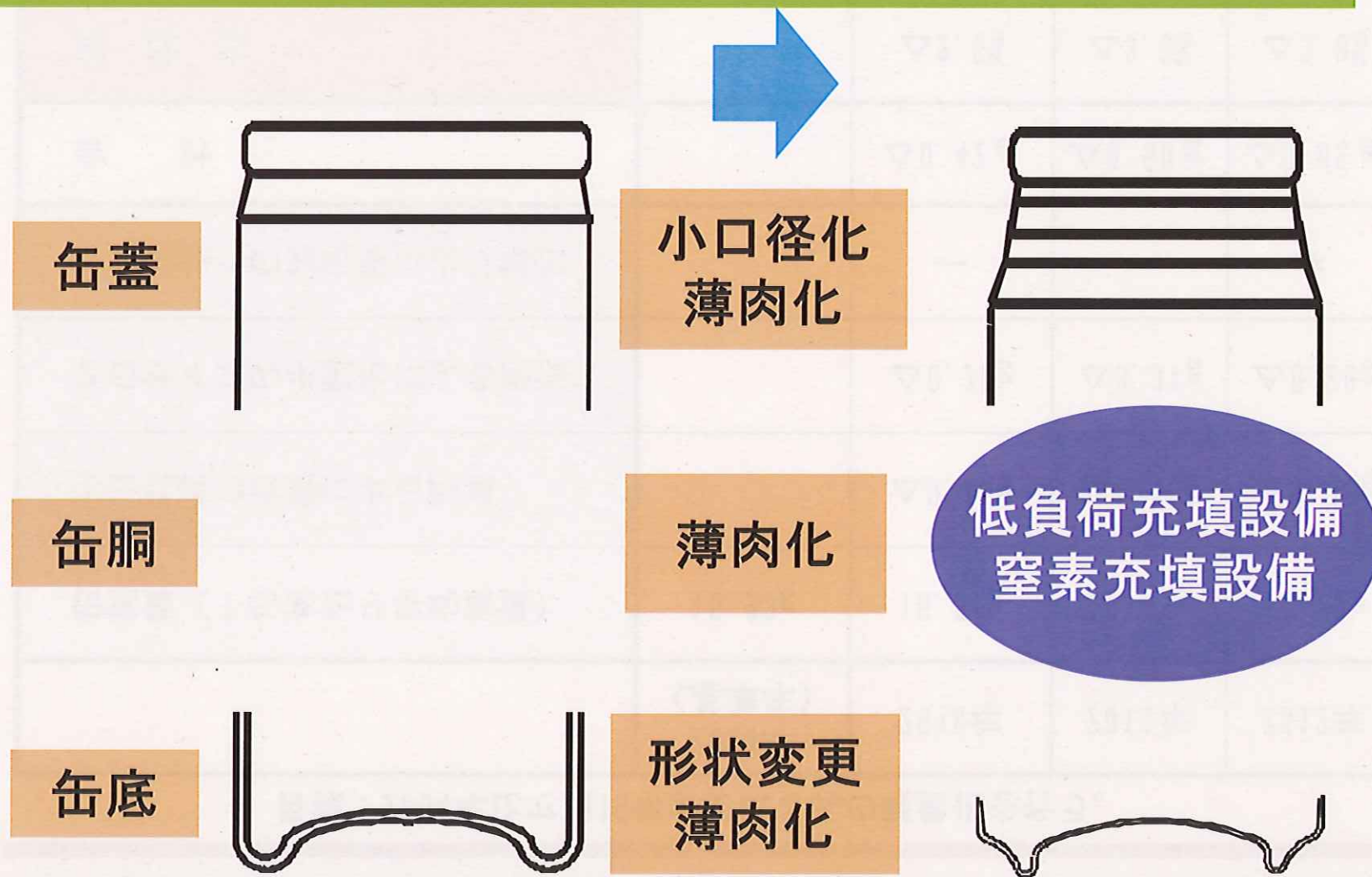
飲料用アルミ缶リデュース実績（全平均）

目標：2004年比で2015年までに3%の軽量化を行う。

	2004年 (基準年)	2010年	2011年	2012年
缶重量（1缶あたり平均重量）	16.93g	16.51g	16.43g	16.28g
①缶仕様の改善による削減		△0.16g	△0.19g	△0.39g
②缶サイズの小型化による削減		△0.26g	△0.31g	△0.26g
③新製品への対応等により増加		—	—	*
合 計		△0.42g	△0.50g	△0.65g
削 減 率		△2.5%	△3.0%	△3.8%

* : ボトル缶の増加で缶サイズによっては重量増加あり

飲料用アルミ缶リデュース；軽量化



アルミ缶リサイクル率(%)

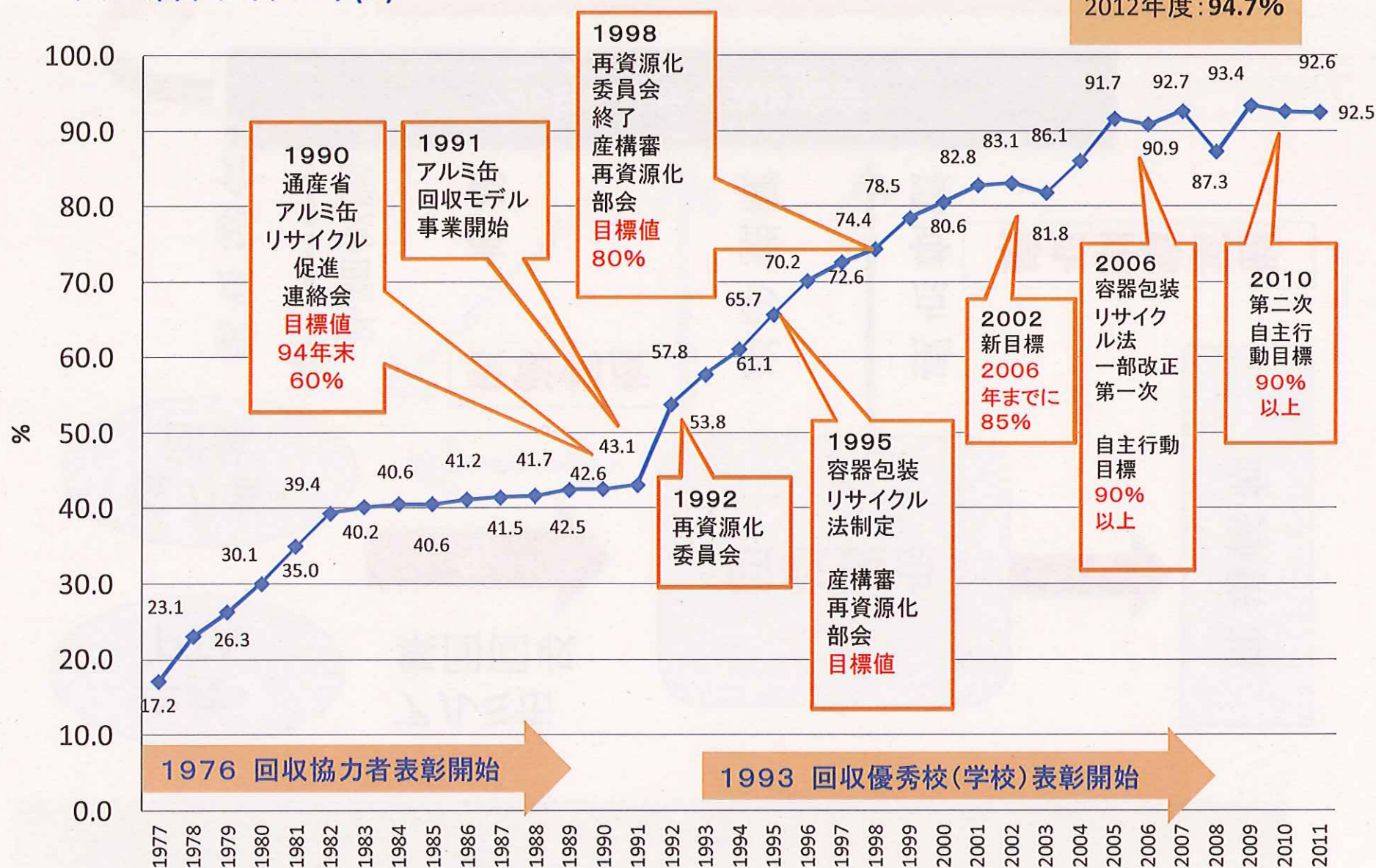
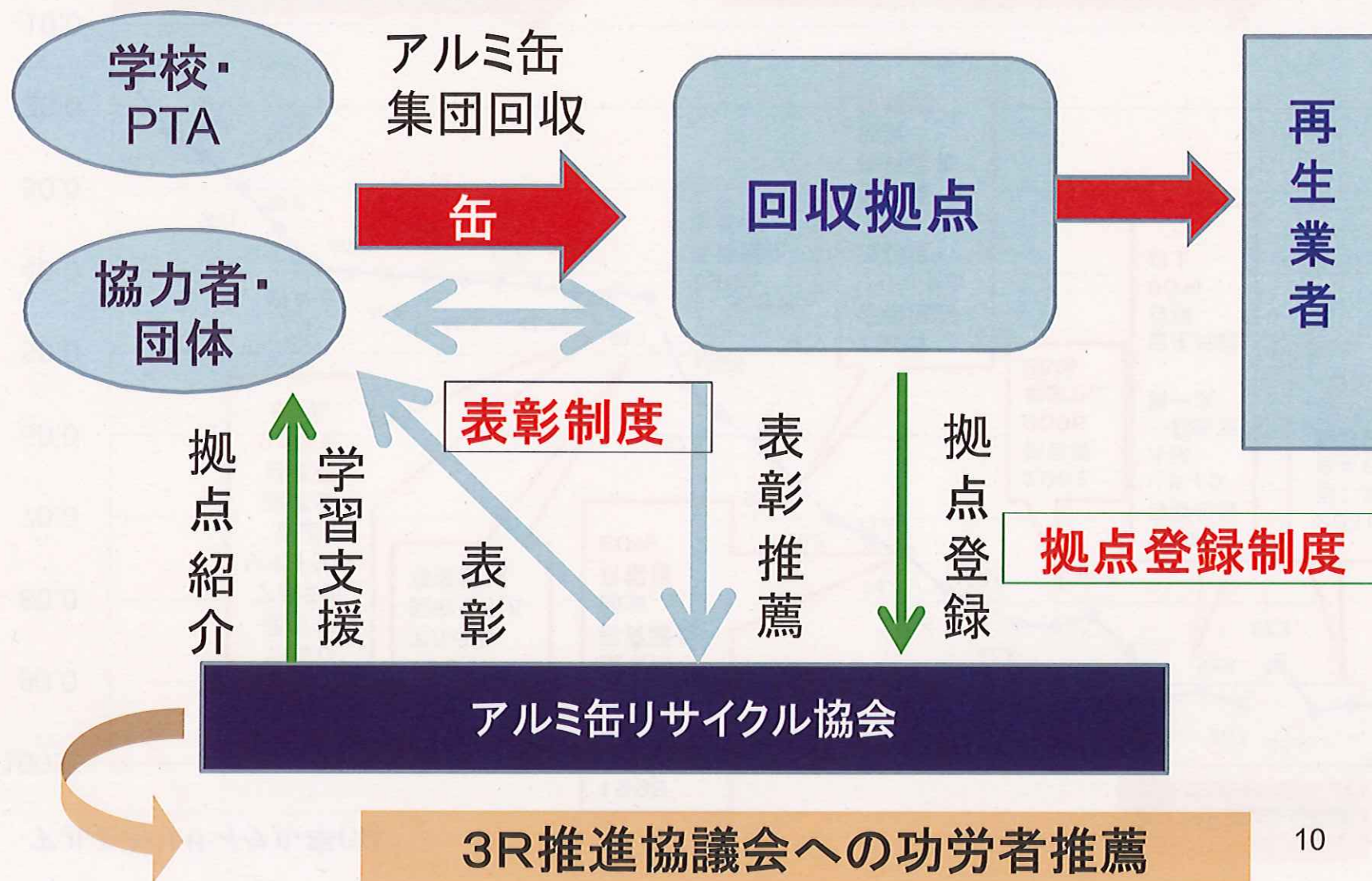


図3 アルミ缶リサイクル率の推移と各種施策

集団回収支援システム



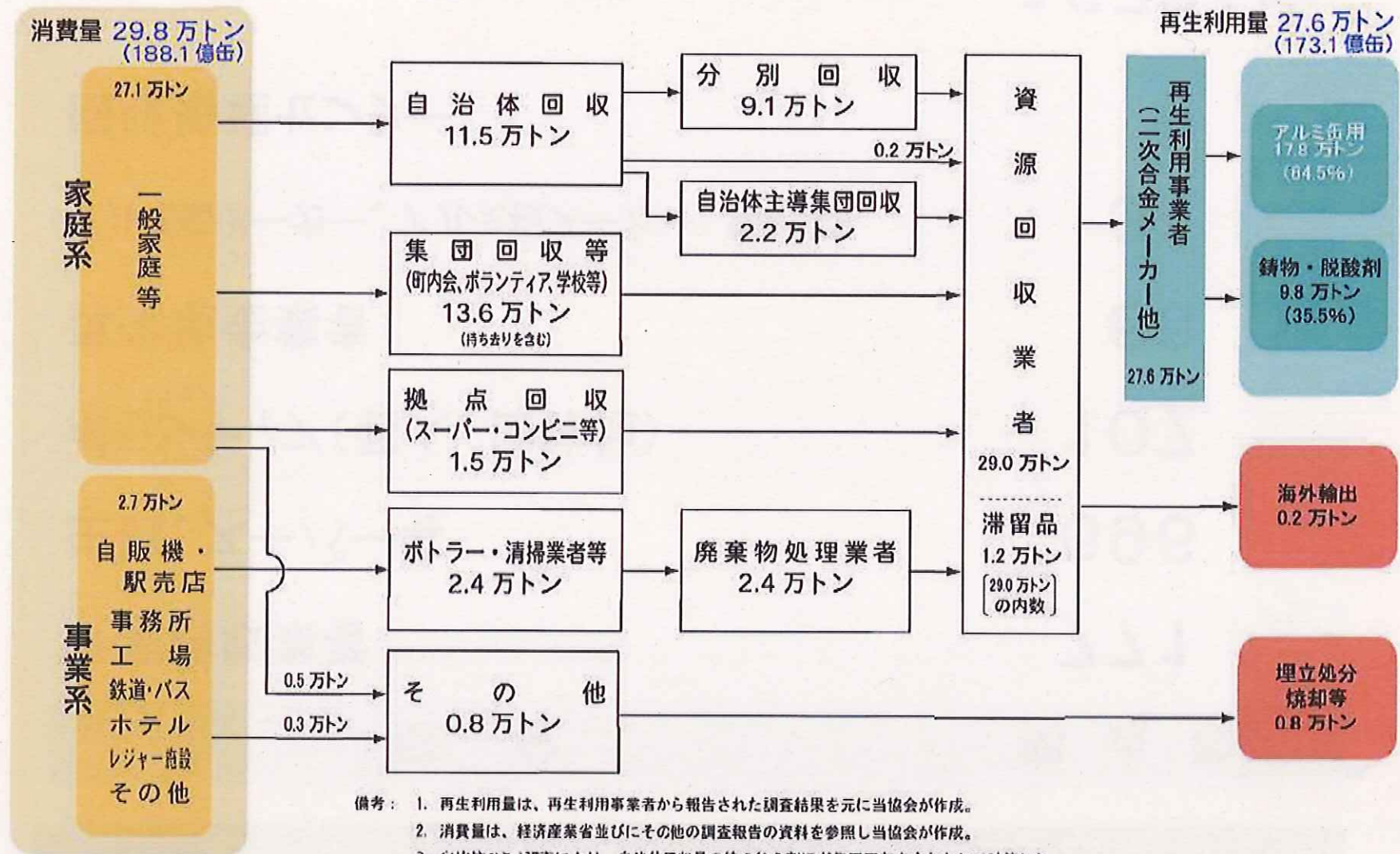
回収拠点数

(平成25年3月27日時点)

区 分	拠 点 数
資源回収業者	771
生協、スーパー等	696
ボランティア(個人、団体他)	107
再生地金業者	66
アルミ缶メーカー、アルミ板メーカー、商社等	31
回収処理センター	7

1678カ所

平成 23 年度アルミ缶再生利用フロー



- 備考：
1. 再生利用量は、再生利用事業者から報告された調査結果を元に当協会が作成。
 2. 消費量は、経済産業省並びにその他の調査報告の資料を参照し当協会が作成。
 3. 自治体アンケート調査により、自治体回収量の他の約2割ほど集団回収を含むとして計算した。
 4. ルート別アルミ缶のリサイクル量は、当協会の推定値。
 5. 回収ステーションからの抜き取りについては、禁止・罰則条例等で特定できないので集団回収・その他回収の中の内数に含めた。

教育支援等

①協会への訪問学習の受け入れ

毎年、全国から修学旅行の1学習プログラムとして協会にてアルミ缶回収・リサイクルの教育を実施しています。

②各種展示会・催し物へのグッズ提供

環境関係の展示会、市町村の説明会、学校教育資料等でパンフレット、ビデオ、アルミ材等を提供・貸出しています。

③アルミ缶回収システム研修会

毎年、市民・マスコミを含め、回収に関連する施設の見学会を行い回収への理解を深めています。

容器包装リサイクル制度について評価する点

- 消費者、自治体、事業者の役割分担の明確化
; 法制化以降、リサイクル率が確実に向上
- 3Rの社会的な役割の理解、認識の深化
; 経済性のみならず社会貢献の観点から評価
- 関係主体の協働を促す
; 責任の押付け合いから相互理解の場の設定



分別収集、集団回収の普及

容器包装リサイクル制度についての課題

- ・ 集団回収ルート的位置づけ

；リサイクルの3ルートとして自主回収ルート、指定法人ルート、独自ルートがあるが、実績のある集団回収ルート的位置づけも必要

- ・ 関係法令との運用の連携

；例えば、資源有効利用促進法、廃棄物処理法との補完関係、特例扱いについて整理、周知し、使い勝手の良い法に改善できないか

参 考

アルミ缶と
スチール缶に
分けましょう。



軽く水洗い。
ご協力くださ

缶の中に異物が入っている
ことがあります。
軽く水ですすいでいただければ
安全なリサイクル作業が
できます。



アルミ缶リサイクルの3つの方法

分別収集



ほとんどの市町村ですすめられている
ゴミの再資源化活動のことです。

拠点回収



スーパーマーケットや生活協同組合
などで回収ボックスなどを置いて、
お店で行っています。

集団回収



自治会、小・中学校・老人会・婦人会など
中心になって、ボランティア活動として、
回収業者の人と協力して行われています。

※分別方法については、所属する自治体の規定に従ってください。

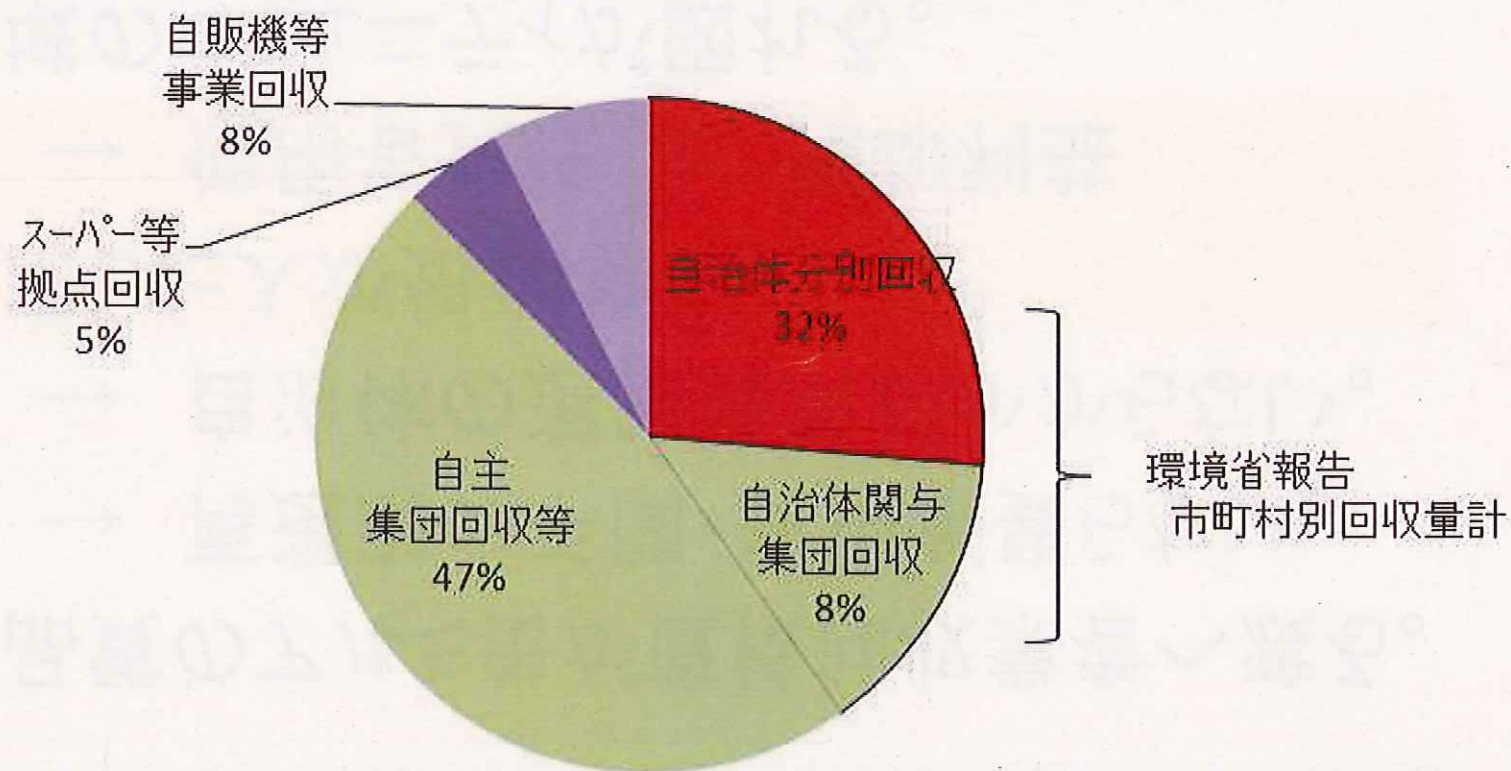
集団回収のメリット

- ・高品質のアルミ缶が直接回収業者へ渡る。
 - 再選別の手間・費用が要らない。
 - 自治体の選別費用がかからない。
- ・使用した人が処理する。
 - 使用者責任 と 売却利益
- ・地域のコミュニティが図れる。
 - 環境意識も高くなる。
- ・多量に集めることができる。

参 考

アルミ缶回収分類(平成22年度)

再資源化総量288千トン(アルミ缶リサイクル協会統計)の構成内訳



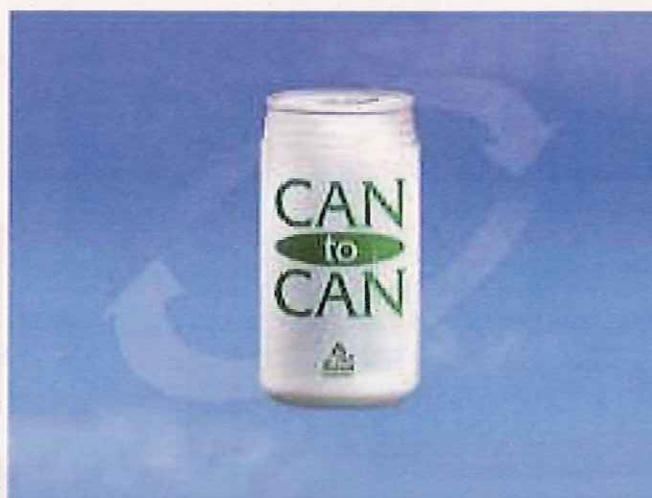
アルミ缶回収のフロー入口の分類

参 考

アルミ缶リサイクルフロー



FIN



<http://www.alumi-can.or.jp>



アルミ缶リサイクル協会
Aluminium Can Recycling Association